

# 兵庫県における ニホンジカによる森林生態系被害の把握と保全技術 II

Assessments and technologies for conservation of forest ecosystem  
under overabundance of sika deer in Hyogo Prefecture: part II

兵庫県森林動物研究センター 研究部 編集



兵庫県森林動物研究センター  
兵庫 ワイルドライフモノグラフ 9 号

## はじめに

兵庫県森林動物研究センター（以下、研究センター）は、ワイルドライフマネジメントに係わる研究成果を広く市民の方々に知っていただくことを目的として、平成20年度から「兵庫ワイルドライフモノグラフ」を刊行してまいりました。これまですでに8号を発行しておりますが、今回、第9号として「兵庫県におけるニホンジカによる森林生態系被害の把握と保全技術Ⅱ」を刊行いたします。

皆さまご存知のように、兵庫県のみならず日本各地において、増え過ぎたシカによる森林生態系および農業への被害は、もはや看過できないところまで広がっております。わたしたちワイルドライフマネジメントに従事している者にとって、シカによる被害を軽減させつつ、その保全を推進することは、最重要課題のひとつとなっております。

科学は一般に、広範に適用させることが可能な知識体系を構築することを目的にしてきましたが、シカによる森林生態系や農業への被害は地域差が大きいいため、まず兵庫県内における落葉広葉樹林の下層植生の衰退状況や土壌侵食被害などを正確に把握し、シカの過採食がどのような影響を与えているのかを調査してきました。それらの成果を踏まえて、鳥類群集やチョウ類群集などへの影響を広域で評価することが可能となりました。また被害実態を調査すると同時に、シカの個体数管理手法の開発や、森林の整備手法、土壌侵食リスク評価手法の開発に関する研究も積極的に進めてきました。

今回、「兵庫県におけるニホンジカによる森林生態系被害の把握と保全技術Ⅱ」と題したモノグラフを刊行することができましたのも、これまでの10年にわたる着実なデータの積み重ねによるところが大きいと考えております。さらに本モノグラフは、こうした研究成果を集大成するだけでなく、兵庫県で得られた研究成果をより広域の地域に適用させるうえで、大きな役割を果たしました。すなわち兵庫県域スケールで被害をモニタリングするために開発してきた手法を、他の地方自治体においても導入できるマニュアルを作成したことによって、複数の隣接する地方自治体が統一的な調査を実施するようになりました。その結果、広域にわたってシカの影響を評価することが可能となり、広域管理に向けた基盤が整備されました。

最後になりましたが、「兵庫ワイルドライフモノグラフ」は、編集委員会が毎年設定するテーマに沿って執筆された論文等をモノグラフとして編集しております。詳細につきましては、投稿規定をご参照ください。みなさまのご投稿をお待ちしております。

兵庫県森林動物研究センター所長 梶 光一

# 目 次

1 章 兵庫県本州部の落葉広葉樹林におけるニホンジカの影響による 下層植生衰退度の変動と捕獲の効果 (2010 年～2014 年) 藤木大介	・・・ 1
Box : 下層植生 “再生” のためのシカの個体数管理について	・・・ 16
2 章 淡路島の広葉樹林におけるニホンジカによる植生の衰退について —2012 年と 2015 年の状況— 藤木大介	・・・ 17
3 章 シカによる外来木本群落の成立と分布拡大 石田弘明	・・・ 29
4 章 ニホンジカの採食による森林の下層植生衰退と鳥類群集との関係を広域で評価する 関伸一・藤木大介	・・・ 45
5 章 兵庫県におけるニホンジカによる自然植生衰退がチョウ類群集に及ぼした影響 近藤伸一	・・・ 63
6 章 植生保護柵としてのネット柵、金網柵の成績評価 藤堂千景・藤木大介	・・・ 90
7 章 ニホンジカ高密度地域の森林整備地に施工された土壌保全施設や 植生保護柵の土壌侵食防止効果 山瀬敬太郎・藤木大介	・・・ 100
8 章 落葉広葉樹林における適正な立木密度管理のための土壌侵食リスク早見表 藤木大介	・・・ 110
9 章 兵庫県におけるニホンジカの嗜好性植物・不嗜好性植物リスト 藤木大介	・・・ 118
Box : 特定不嗜好性種イワヒメワラビ群落の分布について	・・・ 134